



Waseda University

有村 俊秀

ARIMURA Toshi H.



トップレベルの研究およびデータ

- 計量経済学的手法に基づく環境・エネルギー政策/取組の事後評価
- 応用一般均衡分析による事前の環境政策の評価
- 社会実験による環境・エネルギー政策効果検証

代表論文

- Takeda S. & Arimura T.H. (2024) "A computable general equilibrium analysis of the EU CBAM for the Japanese economy" *Japan and the World Economy* 70. 10.1016/j.japwor.2024.101242
 - Arimura, T.H. & Abe, T. (2021) "The impact of the Tokyo emissions trading scheme on office buildings: what factor contributed to the emission reduction?". *Environ Econ Policy Stud* 23, 517-533.
 - Sadayuki T. & Arimura T.H. (2021) "Do regional emission trading schemes lead to carbon leakage within firms? Evidence from Japan" *Energy Economics*, 104, 105664, pp.1-15.
 - Takeda S. & Arimura T.H. (2021) "A computable general equilibrium analysis of environmental tax reform in Japan with a forward looking dynamic model" *Sustainability Science*, 16(2) open access, pp.1-19.
 - Arimura T.H., Katayama.H. & Sakudo, M. (2016) "Do Social Norms Matter to Energy-Saving Behavior? Endogenous Social and Correlated Effects," *Journal of the Association of Environmental and Resource Economists*, 3 (3), pp. 525-553.
 - Arimura T.,Katayama & N.Ddarnall.(2011) "Is ISO 14001 a Gateway to More Advanced Voluntary Action? A Case for Green Supply Chain Management" *Journal of Environmental Economics and Management* 61(2). pp.170-182
- 代表(編)著書**
- 有村俊秀(2026)「カーボンプライシングの経済分析：始動するGS-ETSへの視座」(日経BP社)
 - 有村俊秀, 篤津明由, 杉野誠編著(2022)「カーボンプライシングのフロンティア:カーボンニュートラル社会のための制度と技術」日本評論社
 - 有村俊秀・日引聡(2023)「入門 環境経済学 新版:脱炭素の最適解」中公新書
 - Arimura T.H.& Matsumoto S. ed.(2021) "Carbon Pricing in Japan" Springer
 - Arimura T.H.& Hibiki A. (2024) "Introduction to Environmental Economics and Policy in Japan" Springer, open access

キーワード

- 環境経済学
- 気候変動政策
- エネルギー経済学
- 応用ミクロ計量経済学
- 都市・交通問題
- 大気汚染問題

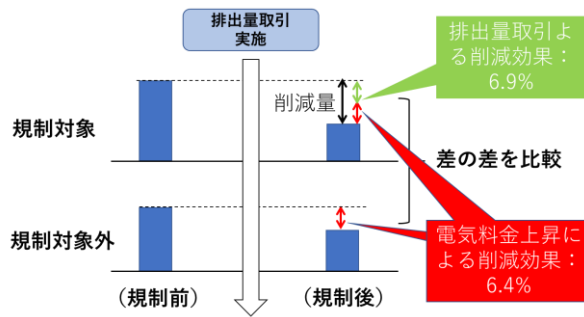
審議会・学会活動

- 環境省「中央環境審議会」委員 (2018~)
- 東京都「環境審議会」委員 (2019~)
- 経済産業省「産業構造審議会イノベーション・環境分科会排出量取引制度小委員会」委員 (2025~)
- 国土交通省「交通政策審議会交通体系分科会環境部会排出枠の割当方式検討小委員会」委員 (2025~)
- 環境経済・政策学会会長(2022~ 2024)、アジア環境・資源経済学会副会長(2024~)

特徴(実現手段等)

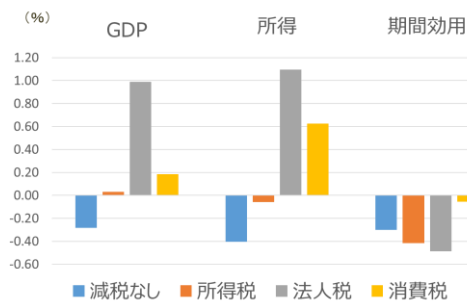
東京都の排出量取引では、東日本大震災による電気代上昇の効果を差し引いても、削減効果を確認

排出量取引の削減効果



炭素税収を法人税減税に用いれば、排出削減と経済成長の両立が可能(炭素税CPの二重の配当)

日本経済におけるCPの二重の配当(2030年)



省エネ促進の行動経済学的アプローチ ホテルでの社会実験

見える化+ナッジ(募金)
他人への思いやりで
節電は進むか?

電気とお湯の節約にはWWF.募金させていただきます

- 電気とお湯の両方とも下回った場合 ⇒600円をWWFへ寄付
- どちらか片方だけ下回った場合 ⇒300円をWWFへ寄付

見える化タブレットだけの部屋に宿泊したお客様に比べて
16%節電成功
28%お湯節約成功

受賞

- 2012年度 環境経済・政策学会 奨励賞
- 2018年度 環境経済・政策学会 学術賞
- 2020年度 環境科学会 学術賞「環境政策提言に資する環境経済学手法による実証研究」
- 2020年度 環境科学会 論文賞「炭素税・FIT賦課金による産業・家計への影響-産業連関分析による定量的評価-」亀岡滯・有村俊秀
- 2021年度 環境経済・政策学会 論壇賞「Carbon Pricing in Japan」
- 2023年度 公益財団法人市村清新技術財団、第55回市村地球環境学術賞(功績賞)「脱炭素にむけたカーボンプライシングの経済分析:定量的・実証的アプローチ」有村俊秀(共同受賞 松本茂・武田史郎)
- 2024年度 アリゾナ州立大学プレジデント賞

推進する政策・取組

- カーボンプライシング
- 排出量取引
- 炭素税(二重の配当)
- 環境税
- 二国間クレジット制度
- 省エネルギー政策
- グリーン調達等

関連するSDGs目標

